

障害児支援関係団体の皆様

日頃より障害児支援行政の推進にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

こども家庭庁障害児支援課です。

標記について、文部科学省より情報提供がありましたので、貴団体の皆様に向けてお送りいたします。

よろしく願いいたします。

【文部科学省より】

=====

このたび、こども家庭庁にご協力をいただき、文部科学省が進める「障害者の生涯学習の推進」に関する取組について情報提供をさせていただきたく、本メールをお送りしております。

文部科学省 障害者学習支援推進室では、誰もが共に学び、生きる共生社会の実現を目指し、障害者が学校卒業後も生涯を通じて教育や学習、文化芸術、スポーツ等の様々な機会に親しめるよう、様々な取組を進めております。

例えば、地域の生涯学習センターや公民館等では様々な生涯学習の機会がありますが、必ずしも障害者が、自分の興味関心に応じて気軽に利用できる環境が整っているとは言えず、障害の当事者や保護者、支援者（福祉関係者など）に学習機会に関する情報が十分に届けられていないという状況がございます。

このような状況を解消するため、文部科学省では、多様な生涯学習プログラム開発を支援したり、地域で取組を始められるみなさまをアシストするアドバイザーを派遣したりする取組等を進めております（詳細は添付ファイルをご参照ください。）

また、障害者の生涯学習に関わる方の交流や連携、障害理解等を進めるため「共に学び、生きる共生社会コンファレンス」を開催しています。令和6年度は、全国17箇所で開催予定です。各コンファレンスの開催時期や方式などは文部科学省ホームページにて随時更新しています。対面・オンライン参加のハイブリッド方式で開催している会場もありますので、是非、ご参加・ご視聴ください。

【参考 URL】令和6年度「共に学び、生きる共生社会コンファレンス」の開催について

https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/1421842_00008.htm

ご不明な点などございましたら、下記問い合わせ先までご連絡をいただければ幸いです。障害者の生涯学習の推進に向け、引き続きご協力賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。



【本件連絡先】

文部科学省 総合教育政策局 男女共同参画共生社会学習・安全課
障害者学習支援推進室

ホームページ：https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/index.htm

文部科学省が進める 学校卒業後の障害者の学びの場づくり

障害者ご本人の「もっと学びたい!」「仲間が欲しい!」という思いや、保護者のみなさまの「学校卒業後も学びを続けてほしい」「家庭以外の居場所が欲しい」といった思いに応えられるよう、文部科学省では、学校を卒業した障害者が、障害の有無に関わらず学ぶことができる場づくりを進めています。

以下のように様々なメニューをご用意していますので、ぜひご活用ください!

障害者と地域の交流や
学びの場をつくりたい

日中活動や余暇活動の
新たなプログラムを
検討したい

学校卒業後における障害者の 学びの支援推進事業 (委託事業)

実際に生涯学習プログラムの開発・実施する
場合に活用可能

【対象】地方公共団体・民間団体
(社会福祉法人、NPO法人ほか
ボランティア団体等の任意団体
含む)・大学等



取り組みたいが
誰に相談に乗って
もらえるの?

「障害者の生涯学習」
に関する研修を
企画したい

アドバイザー派遣

生涯学習に関する取組の実施を検討する団体
等からの相談に対して、障害者の生涯学習推進
に関する様々な知見を有する
「障害者の生涯学習推進アドバ
イザー」を派遣して、助言等
をおこないます。



※アドバイザー派遣に係る費用は文部科学省負担



共に学び、生きる 共生社会 コンファレンス

障害者本人による学びの成果や学びの場づくり
に関する好事例の共有など、障害者の生涯学習
活動に関するコンファレンス

※令和6年度は全国17か所、オンライン併用開催も多数

「障害者の生涯学習」
ってどんなもの?



障害福祉や社会教育・
生涯学習・学校教育関係
者等でこれから学びの
場づくりに取り組みたい
と考えている方に向け
て、事例やQ&Aなど
を盛り込んだ事例集



共生社会のマナビ
障害者の生涯学習支援入門ガイド事例集

やってみたいけど
何から始めたらいいの?

体制整備のためのスタートアップメニューもあります

委託事業のメニューでは、先進事例収集や現地視察等を通じて地域の関係
機関・団体との連携体制構築準備のためのメニューもあり、アドバイザー
派遣と併せて、地域の体制づくりを支援します。

「障害者の生涯学習」とは？

障害者が、学校卒業後も、生涯を通じて教育やスポーツ、文化などの様々な機会に親しみ、豊かな人生を送ることができる、生涯を通じた多様な学習活動のことです。

「生活のための学び」「知識習得のための学び」「体験活動」など、当事者の学習ニーズに合わせた幅広い学習プログラムが展開されています。

学習プログラムの一例

表：障害者の生涯学習を支える実践の多様性

公民館等 における実践	障害者青年学級など障害者を主な対象とする事業
	一般の学級・講座等への障害者の参加（合理的配慮）
	社会教育関係団体やサークルへの障害者の参加
その他の 社会教育施設 における実践	博物館における合理的配慮
	図書館における合理的配慮、点字図書等の提供
	障害者スポーツセンターの設置
	体育施設における合理的配慮、アダプテッド・スポーツ推進
学校 に関連する実践	特別支援学校等の同窓会活動
	大学の公開講座等への障害者の参加（合理的配慮）
	大学等におけるオープンカレッジ、障害者対象の公開講座等
	継続教育を実施する高等教育機関における障害者の受入
社会福祉 に関連する実践	障害者支援事業所における文化芸術活動、スポーツ活動、学習活動
	自立生活センター等における自立生活プログラム
	学習活動の参加に不可欠な障害者福祉サービスの提供 社会福祉協議会の福祉教育活動等
就労支援 に関連する実践	就労支援施設における作業としてのアート活動
	一般就労をする障害者の生きがいづくりのプログラム
その他の実践	親の会や家族会などによる学習活動
	障害当事者グループの学習活動
	NPOなどによる文化芸術活動、スポーツ活動、学習活動
	営利事業としての障害者対象の教室等
	民間の学習機会への障害者の参加（合理的配慮） 医療機関における学習活動、学習支援活動

※神戸大学・津田英二教授 による整理
「障害者の生涯学習支援推進の考え方」
（『社会教育』2018年12月号）から



夕刻のたまり場
(社会福祉法人一麦会)



オンライン読書会
(NPO法人エイブル・アート・ジャパン)



部活動で仲間づくり
(こうべ市民福祉振興協会)



大学生と共に学ぶ
(相模女子大学・相模原市)



音楽で遊ぼう
(秋田県大館市)



アートアカデミー
(北海道岩見沢市)

【参考資料】 ご活用ください



障害者の学びの実践紹介動画
共に学び ひろがる世界

～障害者×生涯学習～



障害者の生涯学習啓発リーフレット【わかりやすい版】
だれでもいつでも学べる社会へ



～重度重複障害者の生涯学習～
だれでも参加できる生涯学習の機会を作りませんか？



都道府県・指定都市の
障害者学習支援担当窓口
(文部科学省HP)

